

DISNEY INTERNSHIP PROGRAM

2023 AUG.20~2024 JAN.18

ディズニーインターンシップを選んだ理由

私自身ディズニーが好きだったため、このプログラムに興味を持ちましたが、それだけでなく、世界中のゲストと出会うことができ、多文化共生について学びたいと思っていた私にはとても魅力的なものでした。世界的にも有名な会社で働くことで、この経験は将来就職した時に相手を満足させるサービスを考えることに役に立つと思います、このプログラムを選びました。

留学のためにしておけば良かったと思う準備

最初に、留学に行くかどうかに関わらず、英語力の向上が最優先だと考えます。私は当時、ディズニーのプログラムが再開されるのを待っており、その間に余暇を利用して TOEIC の試験を受験し、プログラム再開の瞬間にすぐに申し込みました。プログラムのエントリー待ちの間に英語スコアを準備するのは遅すぎるかもしれません。また、最終面接合格後、現地のディズニーについていろいろと調べました。ディズニー映画などもたくさん見て、ディズニーについての知識を増やしました。ゲストと話す際にキャラクターの話をする機会が多かったので、とても役に立ちました。

滞在先の雰囲気

私が滞在していた寮は、ディズニー最新のもので、セキュリティが厳重で、宅配ボックスも完備され、24時間対応のサービスセンターもあり、周辺には便利な施設が充実しており、非常に住みやすかったです。また、交通の点では各寮や職場から出発するバスが利用でき、心配せずに過ごせる環境でした。私が住んでいたのは4人部屋で、中国人1人、韓国人1人、日本人1人、アメリカ人1人という多文化共生の雰囲気がありました。アジア人たちと一緒に住んでいるため、一緒に出勤帰宅をしたり、パーク行ったり、パーティーを開いたり、困ったときに助け合ったりととても心強く感じていました。

VALENCIA COLLEGE の授業

週に1回、各3時間の座学があり、その中で Business Management と Leadership を学びました。Business Management では、組織の要件と対人関係の能力とのバランスに焦点を当てました。Leadership では、組織のリーダーになるために進化するために必要な特性やスキルを認識しました。さらに、週に1回のオンラインクラスも受講しています。毎週課題を提出し、他の学生と意見を交換し、様々な議論が行われました。

ロール1 (MERCHANDISE)

最初のロールでは、Magic Kingdom の Liberty Square で Merchandise の担当として働いています。Liberty Square には、クリスマスオーナメントを販売する店と Haunted Mansion のギフトショップ Memento Mori の2つの店舗があります。クリスマスショップでは、クリスマス飾りやカチューシャ、バッジのパーソナライゼーションが可能です。レジ業務以外にも、stocker と呼ばれる役割も担当しています。stocker は主に品出しの役割で、倉庫から店舗まで商品を補充し、お客様が手に取りやすく美しく陳列することが主な業務です。その他にも、Glow カートのトレーニングも受けました。Glow とは、カートで音や音楽が鳴り、光るシャボン玉や光

るおもちゃを販売する仕事です。仕事中は世界各地のゲストからさまざまな質問が寄せられます。例えば、オーナメントに関する質問や在庫の状況、道案内やトイレの場所、パレードの時間や場所などです。中にはスペイン語しか話せないゲストもいるため、質問に理解できない場合はハンドジェスチャーで努力し、なんとかコミュニケーションをとっています。さまざまな困難がある中で、私はこの仕事が大好きです。

ロール2 (QUICK SERVICE FOOD & BEVERAGE)

2 つ目のロールは Food & Beverage の役割で、前職と同じく Magic Kingdom Liberty Square に位置するお店で、その名前は Columbia Harbour House です。シーフードに関連するお店で、慣れた環境であるため、安心感がありました。Magic Kingdom の Merchandise では 6 時間のシフトに途中 30 分の休憩があるのに対して、Food & Beverage は 15 分の休憩しかないという点に驚きました。初めの 2 週間は大変でした。レジシステムが異なり、メニューにもまだ慣れていない上に、ゴミ捨てが難しく、カウンターでの食事提供も難しい状況でした。さらに、毎週 3 日ほどは長時間のシフトが組まれ、普通 6 時間シフトの Merchandise と比べて F&B は 9 時間以上の勤務が多く、体力と精神的な面で辛かったです。1 つ目のロールに比べて、モノ相手の作業が増え、ゲストとの交流が激減したことで、Merchandise が懐かしく感じられる日々が 続きました。

プログラムに参加したことで自分自身どう変わったか

過去 5 ヶ月間の留学先での経験により、英語の使用が増え、言語スキルが向上しました。現地の言葉を日常生活で使うことで、会話能力や語彙が豊かになりました。また、留学先で異なる文化や習慣に触れることで、異文化理解が深まり、様々なバックグラウンドを持つ人々との交流を通じて、広い視野を得ることができました。さらに、異なる国や地域から来た友達との交流を通じて、国際的な友人ネット

トワークを築くことができました。新しい文化や考え方に触れる中で、自身の価値観を見直す機会も得られました。

今後の抱負

今後、新しい文化や環境での経験を積むために、海外への進学や就職を検討しています。特に、言語スキルの向上が不可欠であり、異なる国での仕事や就職を考える場合、その国の言語スキルが非常に有益だと感じています。例えば、アメリカではスペイン語を話す人が多く、ディズニーでの経験からスペイン語が必要な場面があることを理解しています。したがって、今後はスペイン語を中心に勉強していくつもりです。ディズニーに就職した経験から、ディズニー関連の仕事が自身にとって楽しく充実したものであることを実感しています。この経験を活かし、今後もディズニー関連の仕事に携わりたいと考えています。

